

法人・個人事業主向けAPIの提供および クラウド会計サービスとの連携開始について ～共通のIDで便利なフィンテックサービスと安全に連携～

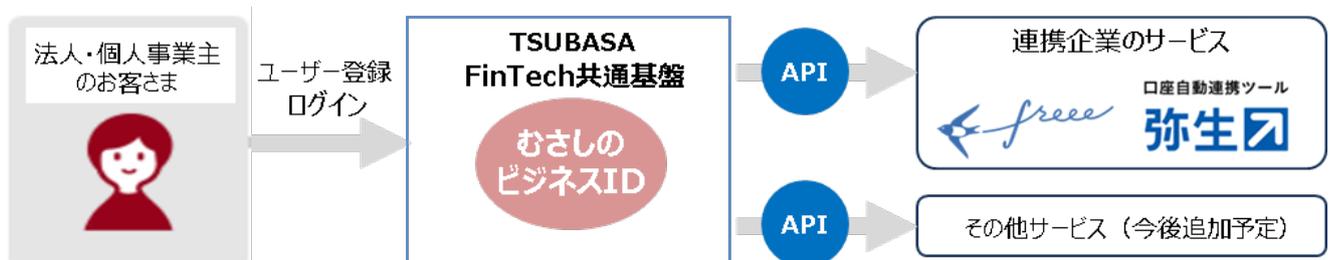
武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）では、2020年5月25日（月）より、「TSUBASA FinTech 共通基盤」※1による法人・個人事業主向けAPI※2の提供、およびフリー株式会社（代表取締役 佐々木 大輔）と弥生株式会社（代表取締役社長 岡本 浩一郎）が提供するクラウド会計サービスとのAPI連携を開始いたしましたので、お知らせします。

これにより、法人・個人事業主のお客さまは、各社提供のクラウド会計サービスなど、便利なフィンテックサービスを、インターネットバンキング契約を伴うことなく、安全にご利用いただけるようになります。

具体的には、事前に登録いただく「むさしのビジネスID」※3へのログイン認証を通じ、お客さまの口座情報を各種サービスと連携いたします。

当行では、今後もお客さまの多様なニーズにお応えする最適な商品・サービスの提供に向け、フィンテックへの取組みを強化してまいります。

<TSUBASA FinTech 共通基盤を通じたフィンテックサービスご利用のイメージ>



むさしのビジネスIDの登録方法は別紙をご覧ください

※1：「TSUBASA アライアンス」の参加行（千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行）と T&I イノベーションセンター株式会社（代表取締役 森本 昌雄）が共同で構築した、オープンAPIのプラットフォームです。TSUBASA アライアンスは、上記6行に加え、当行、北越銀行、滋賀銀行、琉球銀行の10行が参加する地銀広域連携の枠組みです。

※2：APIとは、Application Programming Interfaceの略です。お客さまの同意に基づいて銀行等のシステムに外部から接続して安全に情報を取得できるようにする仕組みで、その仕様等をフィンテック企業等の外部事業者に公開することを「オープンAPI」といいます。

※3：インターネットで提供されるサービスを、共通のIDでご利用いただく仕組みです。

以上

報道機関からのお問い合わせ先
営業統括部 フィンテック推進室 野崎・根本
TEL (048) 641-6111 (代表) 内線 2408、2447

＜むさしのビジネス ID の登録方法＞

むさしのビジネス ID は、当行ホームページや連携先企業のサービス画面から遷移する「むさしのビジネス ID」の専用ページにて登録が出来ます。

必要情報入力後、登録したメールアドレスに届くメールの URL をクリックし、申込書を印刷します。申込書にお届け印をご捺印いただき、お取引店へご提出後に登録完了メールが届きましたら、お手続き完了です。

